NIE実践報告

1．タイトル：☆古典とNIE

2．学校名

奈良県立桜井高等学校

3．実践者名（代表者名）

矢野佳津

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

古典　81人

6．単元（本時の学習課題）名

社会へのまなざし

7．目標（狙い）

古典文学の中のジャーナリスティックな作品を学習し、社会と時代への批評精神を学ぶ。同時に、現代社会へも眼を向けることで、古典学習を立体化する。

8．評価の視点

・古典の中の社会へのまなざしを読みとれたか。
・その視点を現代を生きる自己の問題に生かすことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「方丈記」（全文）新潮日本古典集成　（2時間）
「子夜呉歌・石壕吏・売炭翁」大修館書店古典1漢文編　（2時間）　課題学習と記者講演（2時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①・「方丈記」を読み、報告されている事件をピックアップする。
　・今年の新聞記事をふりかえり、現代版方丈記を書く。2クラス分をまとめ、相互評価。（2時間）
②・「子夜呉歌・石壕吏・売炭翁」を学ぶ。（2時間）
　・図書室で、同様の社会への視点を含む漢詩作品をさがし、レポートする。（1時間）
③記者講演「社会へのまなざし――古典でも、新聞でも――」（2クラス合同1時間）
　a）「方丈記」のジャーナリズム性について
　b）新聞記事の紙面による書き方のちがいについて
　c）新聞をどう読むか　（質疑応答）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・現代版方丈記をつくってみて、半年前のニュースなのに忘れていたことも多く、いろいろ思い出した。
・漢詩を読むと、役人の横暴や戦争など、現代社会とかわらない問題点が見えてきて、考えさせられた。
・新聞を読むときのコツが少しわかった。

12．成果と課題

・「方丈記」の文体を意識すると、現代社会の諸相を簡潔にいきいきと描写することができた。
・生徒がとりあげる記事は、おおむね全範囲にわたっていたが、国際面や経済面が弱かった。その点をどのように読んでいけばいいか、記者に質問することができた。
・漢詩をとおして、社会問題の共通性を理解し、古典を学習することの意味を再確認できた。
・古典の学習と現代社会に生きる生徒の関心とを結びつけられる新たな教材を考えたい。